

会 議 録

会 議 名 称	令和3年度 第1回加古川市スポーツ推進審議会
開 催 日	令和3年5月13日（木）通知 令和3年5月28日（金）書面審議締切
開 催 場 所	書面審議
委 員	森田会長、矢野委員、小林委員、戎木委員、破魔委員、 三上委員、中谷委員、西川委員、小寺委員、長谷中委員
会 議 次 第	開 会 1 会長あいさつ 2 部長あいさつ 3 報告事項 （1）東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に係る本市の取組状況について 4 審議事項 （1）加古川市体育協会への補助金の交付について （2）女性のスポーツ参画に向けた取組について （3）加古川市スポーツ推進計画関連事業の進捗状況について 5 その他 閉 会

審議内容	
開 会	
1 会長あいさつ	書面審議のため省略
2 部長あいさつ	書面審議のため省略
3 報告事項	（1）東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に係る本市の取組状況について ＜説明資料 p 1＞
4 審議事項	（1）加古川市体育協会への補助金の交付について ＜資料 p 2～10・説明資料 p 1・2＞ 賛： 10票 / 否： 0票

(委員)	加古川市のスポーツが活性化するのであれば、(補助金交付は) 必要なことだと考える。
(委員)	補助金の交付については賛成ですが、競技団体の規模によって補助金額の見直しは必要かと思う。
(事務局)	全会一致で承認いただきましたので、市民のスポーツ振興及び明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的に補助金の交付をさせていただきます。 競技ごとの補助金額の見直しについては、参考意見として関係機関と情報共有をいたします。 (2) 女性のスポーツ参画に向けた取組について <資料 p 11~29・説明資料 p 2・3>
(委員)	コロナ禍での市民の方々の運動に関する貴重な情報が得られたと考える。子育て世代へのヒントも得られたのではないかな。
(委員)	少子化の進む中で、子育て世代の方々が生き活きと健康となって活気にあふれる街づくりについては賛成する。しかし、現在のコロナ禍では、集まって何かするにはリスクを伴うため、Youtube などお子様やご主人も含めたスポーツチャンネルなどを作ってくれたら人気ができるのではないかな。
(委員)	結果からみると、やはり女性はウォーキングやストレッチ、ヨガなど手軽に始められるものが多いのがわかる。女性が元気な加古川市を目指すべくコロナ禍が落ち着けば何かアクションを起こしていけたらと思う。仕事や育児理由はいたしかたないが、周りの理解や環境を含め、まだまだ向上していけそうだと感じた。
(委員)	オリンピック・パラリンピックの女性の参加率が 50%と言われる時代になるが、女性のスポーツ参加率が伸びないのは、育児の負担が多いうえ、仕事も両立しなければならない現実がある。また、市内のスポーツ教室等の情報が各種団体別、施設別等に分散されており、伝わりにくい現状がある。施設や託児の充実をはかり、育児等のストレスを抱え込まないような環境づくりも急がれるべきではないかと思う。
(委員)	女性が参加しやすい時間帯にイベントを企画し、PR していくと同時に種

	目を絞ってみればよいのではないか。
(委員)	子育て中の女性が気軽に身体を動かせるためには、交通利便性が良く託児や参加者での見守りができ、近くで飲食ができる場所となれば、加古川駅北整備において大規模な公園などが良いと思う。
(事務局)	アンケート結果では、子育て世代は、他の世代と比較すると主に仕事や育児などで時間がないという意見やウォーキング、ストレッチ、ヨガなど手軽に始められる運動を実施したいという意見が多くみられました。アンケート結果及び委員の皆様からいただいたご意見を参考に、少しでも子育て世代の女性がスポーツに参画できるような教室の実施、また新型コロナウイルス感染症の影響下においても自宅周辺でできる運動や動画配信サイトの活用、さらに、スポーツ情報の発信の工夫など女性がスポーツに参画しやすい環境整備について今後取り組んで参ります。 (3) 加古川市スポーツ推進計画関連事業の進捗状況について < A 3 資料・説明資料 p 3 >
(委員)	コロナ禍によりスポーツ離れ、特に部活動世代の子ども達のチャンスも少なく非常に悩ましく感じている。加古川市のイベントが少しでも早く再開できる日を、そして市民のスポーツ離れが防げるように願っている。今後も引き続き市民にとってスポーツが身近な存在（心と体の健康含め）であることを踏まえて発信をお願いしたい。
(委員)	コロナ禍で子ども達の体力低下により健康二次被害を乗り越えるために何ができるのか、早急な取り組みも必要ではないかと思う。障がい者スポーツに関しても、窓口の一本化、市内各公民館等でパラスポーツを普及する体験会を定期的を開催するなど、障がい者がいつでもどこでも、誰でも参加できる環境の整備をお願いしたい。
(委員)	コロナによるスポーツの制限は市民のスポーツに対するモチベーション低下に大きくつながっていると思う。しかし、現在のワクチンも行き届いていない状況で大会やイベントを行うには医学的にも抵抗があるのも事実である。スポーツ庁からの「緊急事態宣言を実施すべき期間の延長・区域の追加等について（令和3年5月8日）」などを十分に検討した上で行っていただきたい。
(委員)	A 3 資料の加古川市スポーツ推進計画関連事業一覧について、「課題・

(事務局)	検討事項」の空欄はいかなものか。何かコメントを入れるべきだと思う。 市民の方々は、一日も早く以前のように運動やスポーツイベントが実施できるようになる日を心待ちにしておられると思います。市としては、安全にスポーツが行えるようになるまで市民の方々のスポーツ離れが起こらないよう、家族やひとりで実施できるスポーツなどの情報発信に努めます。 障がい者スポーツについては、スポーツ・文化課にて関係課と調整しながら進めております。また、現在はパラスポーツチャレンジ出前講座で学校や地域への障がい者スポーツへの理解や普及に努めていますが、今後は障がいのある方と一緒にスポーツをする場の提供も検討して参ります。 現在、新型コロナウイルス感染症の影響から、市が主催するイベントの多くは中止となっていますが、イベント再開の際には、スポーツ庁などからの通知を参考に対策を徹底し、実施して参ります。 次年度に加古川市スポーツ推進計画関連事業一覧作成の際は、「課題・検討事項」の記載について留意して参ります。
5 その他 (委員)	アンケート調査結果の中で、「トランポロビクス」と表記されているが、加古川総合スポーツクラブでの活動では「トランポビクス」として実施及び周知をしているので、今後は、トランポビクスとして周知をお願いしたい。
(事務局)	今回の「女性のスポーツに関するアンケート調査結果」における「トランポロビクス」の表記については、アンケート回答者の記載内容をそのまま使用させていただいております。今後市で周知する際には、表記について留意して参ります。